

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

2021-2022事業報告書

工組・支部名：北海道電気工事業工業組合青年部連合会 名寄支部

資料提出日：令和5年2月20日

1. 【事業名】子ども職業体験 すくすくスクールワークフェス2022参加
【区分】■新規事業・□継続事業(年目) ※該当事業を選択してください。
【分類】(B) 下記A～Fより選択してください。

A:意見交換会	B:体験型	C:ボランティア	D:交流	E:研修
F:寄贈、寄付	G:制作・製品化	H:提携	I:コンテスト	J:その他

2. 【実施日時・作成者】 令和4年10月2日(日) 品田 新一

3. 【実施場所】 稚内中央小学校 ほか

4. 【提言書2020との適合性】本事業に当てはまる項目番号と提言書ページ数をご記入ください

提言書2020 ➡ <https://tinyurl.com/yhrft7xb>

- ①人材育成と後継者育成(P.5～) ②組合員の経営安定化の支援(P.12～)
③技術・施工品質の向上と経営能力の向上(P.16～)

◎項目番号: ① _____ ◎提言書ページ: _____

◎提言書にない場合: _____

5. 【事業目的】

電気工事という職業を認知し、将来の選択肢の一つとして意識していただくとともに、地域に対して、業界として取り組んでいることをアピールし、社会的価値を高めることを目的とする。

6. 【事業内容】

高所作業車体験試乗

7. 【参加員数】

青年部員6名、(協力)ほくでんNW 4名
体験 100名

8. 【外部協力者】

一般社団法人 稚内青年会議所

9. 【事業総額】 なし

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

10. 【事業の成果・PRポイント】

地域の子供が、日々生活する学校に、地域の大人が、日々の仕事を紹介、体験する機会を持込むことで、より印象深い体験を提供する事が出来たと感じます。我々は、企画参加者の一員として、高所作業車体験を行いました。多くの企業、業種が参加する中で、この体験は、来場前に電気工事に興味をもっていなかった子供たちに対しても、よいPRの機会になったと感じます。

11. 【反省点または工夫した点】

コロナ禍の中での開催となり、従前の電気工作や工事士体験はできなかったが、屋外開催の利点を活かした高所作業車体験は、子供たちに対して印象深い体験を提供する事が出来た。ともに、遠くからでも目立つ高所作業車は、組合青年部として地域にアピールすることができたと考えます。

また、お声がけしたところ、ほくでんNWの有志の皆さんに参加いただき、ここ数年、希薄になりがちであった関係を深め交流する良い機会となりました。

12. 【別添資料(写真・動画等)】※事業活動について掲載したホームページやSNS等のURLを記載



「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」
～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～